



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月12日

上場会社名 イーレックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9517 URL http://www.erex.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本名 均
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 花島 克彦 TEL 03 (3243) 1167
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	47,061	42.4	2,834	△13.7	2,549	△17.6	1,574	△17.0
2018年3月期第3四半期	33,054	49.9	3,285	34.5	3,093	32.8	1,897	51.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 3,306百万円 (15.0%) 2018年3月期第3四半期 2,873百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	31.12	30.90
2018年3月期第3四半期	37.70	37.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	65,042	21,961	26.1	335.41
2018年3月期	54,377	17,857	26.3	282.89

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 16,972百万円 2018年3月期 14,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,661	39.9	4,375	△9.1	3,964	△12.7	2,510	△17.4	49.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	50,811,000株	2018年3月期	50,799,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	207,022株	2018年3月期	253,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	50,590,140株	2018年3月期3Q	50,330,087株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（日付の表示変更について）

当第3四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

（補足説明資料について）

同日に当社ホームページ（<https://www.erec.co.jp/ir/>）に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結経営成績におきましては、売上高は47,061百万円(前年同期比+42.4%)、一方、売上原価は40,163百万円(同+51.0%)となりました。

この結果、売上総利益は6,898百万円(同+6.9%)となりました。

また、販売費及び一般管理費は4,063百万円(同+28.2%)となりました。

この結果、営業利益は2,834百万円(同△13.7%)、経常利益は2,549百万円(同△17.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,574百万円(同△17.0%)となりました。

当社グループは、中期経営計画の基本方針において「低炭素化する社会ニーズに応える為、日本を代表する再生可能エネルギーのリーディングカンパニーとなる」を掲げ、発電事業、燃料事業そして小売り事業に取組みつつ、販管費の見直しによるコストダウンを含めた収益性改善のための諸施策を実施してまいりました。

小売事業につきましては、高压分野は、依然として厳しい競争環境下にあるものの、採算性重視の販売に努めました。売上高は堅調に推移しました。低压分野では、新チャネルのパートナーとの連携やアライアンス先の多様化の取り組みが進みました。その結果、高压・低压分野ともに、電力販売量は前年同期を上回る推移となり、電力供給施設数は、2018年12月末時点において、高压分野は約10,300件(前年同期比△500件)、低压分野では約128,000件(前年同期比+41,000件)となりました。

発電事業につきましては、イーレックスニューエナジー株式会社の土佐発電所及びイーレックスニューエナジー佐伯株式会社の佐伯発電所は、計画修繕を行いました。定期修繕後は順調な運転を継続しております。2018年10月及び2018年11月には、九州電力管内において、再生可能エネルギー出力抑制が延べ8日間行われ、これにより、当社グループのイーレックスニューエナジー佐伯株式会社の佐伯発電所も出力抑制をしましたが、収益に与える影響は軽微です。現在建設中の豊前バイオマス発電所、大船渡バイオマス発電所は、2020年1月の商業運転開始に向けた建設工事が順調に進んでおり、それぞれ2018年10月に蒸気ドラム上架式を実施いたしました。

燃料事業につきましては、従来の商社からの調達に加え、昨年12月にはマレーシアに設立した現地会社から佐伯発電所への初出荷が行われ、直接調達は順調に開始しております。

以上に加えて、トレーディング部門において電力仕入ソースの最適化に努めるとともに、販管費を圧縮した結果、経常利益は計画通り推移しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は21,566百万円(前連結会計年度末比△2,213百万円)となりました。これは主に再エネ交付金に係る未収入金の減少によるものです。固定資産は43,473百万円(前連結会計年度末比+12,884百万円)となりました。これは主に発電所建設に伴い、豊前ニューエナジー合同会社及び沖縄うるまニューエナジー株式会社の建設仮勘定が増加したことによるものです。繰延資産は2百万円(前連結会計年度末比△6百万円)となりました。これは株式交付費の償却によるものです。

この結果、総資産は65,042百万円(前連結会計年度末比+10,664百万円)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は16,412百万円(前連結会計年度末比△206百万円)となりました。これは主に未払法人税等及びイーレックス株式会社の短期借入金の減少によるものです。固定負債は26,668百万円(前連結会計年度末比+6,767百万円)となりました。これは主に豊前ニューエナジー合同会社及び沖縄うるまニューエナジー株式会社の長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は43,081百万円(前連結会計年度末比+6,561百万円)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は21,961百万円(前連結会計年度末比+4,103百万円)となりました。これは主に配当金の支払いが609百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,574百万円や為替予約、金利スワップによる繰延ヘッジ損益が1,646百万円増加したこと、及び子会社の増資等に伴う非支配株主持分の増加1,429百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は26.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年11月14日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、2018年11月14日に公表した業績予想は、同資料の発表日時点において当社グループが入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,461	7,554
売掛金	6,142	10,307
原材料及び貯蔵品	280	557
未収入金	4,128	2,694
その他	766	451
流動資産合計	23,779	21,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,503	3,346
機械装置及び運搬具(純額)	15,438	14,543
土地	747	747
建設仮勘定	3,758	16,101
その他(純額)	105	89
有形固定資産合計	23,552	34,829
無形固定資産		
その他	1,803	1,883
無形固定資産合計	1,803	1,883
投資その他の資産		
投資有価証券	432	1,637
関係会社株式	1,368	1,326
繰延税金資産	423	592
敷金及び保証金	458	516
その他	2,611	2,797
貸倒引当金	△61	△110
投資その他の資産合計	5,232	6,759
固定資産合計	30,588	43,473
繰延資産		
株式交付費	9	2
繰延資産合計	9	2
資産合計	54,377	65,042

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,111	5,522
短期借入金	6,500	5,900
1年内返済予定の長期借入金	1,984	1,904
未払金	2,242	2,445
未払法人税等	1,146	300
賞与引当金	84	41
役員賞与引当金	3	1
その他	546	297
流動負債合計	16,619	16,412
固定負債		
長期借入金	12,649	20,980
退職給付に係る負債	25	45
資産除去債務	2,742	2,782
繰延税金負債	30	28
役員報酬BIP信託引当金	98	81
デリバティブ債務	3,929	2,408
その他	425	341
固定負債合計	19,901	26,668
負債合計	36,520	43,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,167	5,168
資本剰余金	4,553	4,586
利益剰余金	8,554	9,519
自己株式	△226	△185
株主資本合計	18,049	19,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△41
繰延ヘッジ損益	△3,734	△2,087
為替換算調整勘定	△15	13
その他の包括利益累計額合計	△3,750	△2,115
非支配株主持分	3,558	4,988
純資産合計	17,857	21,961
負債純資産合計	54,377	65,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	33,054	47,061
売上原価	26,600	40,163
売上総利益	6,453	6,898
販売費及び一般管理費	3,168	4,063
営業利益	3,285	2,834
営業外収益		
受取利息	3	19
受取手数料	3	2
受取配当金	—	8
その他	1	13
営業外収益合計	9	44
営業外費用		
支払利息	118	177
持分法による投資損失	11	59
支払手数料	48	65
その他	22	27
営業外費用合計	201	329
経常利益	3,093	2,549
税金等調整前四半期純利益	3,093	2,549
法人税、住民税及び事業税	954	904
法人税等調整額	△70	△66
法人税等合計	883	838
四半期純利益	2,210	1,710
非支配株主に帰属する四半期純利益	312	136
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,897	1,574

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,210	1,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△41
繰延ヘッジ損益	652	1,609
為替換算調整勘定	11	22
持分法適用会社に対する持分相当額	—	5
四半期包括利益	2,873	3,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,752	3,207
非支配株主に係る四半期包括利益	121	98

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。